



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 不二サッシ株式会社

コード番号 5940 URL <http://www.fujisash.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 土屋 英久

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部総合企画部長

(氏名) 濱高 和長

TEL 03-6867-0777

四半期報告書提出予定日 平成26年8月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	17,373	8.3	△89	—	△178	—	△261	—
26年3月期第1四半期	16,043	16.4	△406	—	△520	—	△625	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △60百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 △500百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△2.07	—
26年3月期第1四半期	△6.37	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
27年3月期第1四半期	79,098	—	13,230	—	16.6	80.00
26年3月期	80,432	—	11,626	—	14.3	67.33

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 13,095百万円 26年3月期 11,497百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	1.4	3,200	△13.8	2,800	△16.5	2,000	△19.3	19.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	126,267,824 株	26年3月期	126,267,824 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

27年3月期1Q	67,341 株	26年3月期	66,994 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	126,200,693 株	26年3月期1Q	98,270,763 株
----------	---------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の当社グループ（当社及び連結子会社）の業績は、アルミ地金等原材料費の上昇や技能労働者不足によるコストへの影響などマイナス要因があるものの、堅調な内需に支えられ、積極的な営業活動を展開した結果、概ね順調に推移しました。

また、当社グループは、中期経営計画『躍進』（2014年度～2016年度）を策定し、「バリューイノベーションの実現」「強靱な事業システムの構築」「成長分野の強化」「新分野への挑戦」を基本戦略とし、グループ全社一丸となって計画の達成に取り組んでいます。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高173億7千3百万円（前年同期比8.3%増）となり、利益面では営業損失8千9百万円（前年同期比3億1千6百万円良化）、経常損失1億7千8百万円（前年同期比3億4千1百万円良化）、四半期純損失2億6千1百万円（前年同期比3億6千4百万円良化）と損失計上ながら、前年同期と比べ良化し、増収増益となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

## 〔建材事業〕

主力の建材事業においては、消費税増税の駆け込み需要の反動はあるものの、緩やかな回復基調を維持しており、加えて利益にこだわった受注活動の継続など積極的に営業展開した結果、売上高は104億2百万円（前年同期比4.1%増）、セグメント利益は1千6百万円（前年同期比2億3千2百万円良化）と増収増益となりました。

## 〔形材外販事業〕

形材外販事業においては、一般形材及びソーラー枠などアルミ加工品が堅調に推移した結果、売上高は59億3千1百万円（前年同期比16.1%増）、セグメント利益は1億9千5百万円（前年同期比2千6百万円増）と増収増益になりました。

## 〔環境事業〕

環境事業においては、新規物件の受注は順調に推移していますが、公共施設が主体となることから中間・期末に売上が集中する傾向にあり、売上高は6億7百万円（前年同期比2.6%減）、セグメント損失は1千7百万円（前年同期比4百万円悪化）と減収減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は514億9千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億7千7百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が13億1千6百万円、受取手形及び売掛金が45億7千8百万円減少し、商品及び製品が2億4千5百万円、仕掛金が45億5千5百万円増加したことによるものであります。固定資産は276億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億5千5百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が1億7千4百万円減少したことによるものであります。この結果、総資産は790億9千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億3千3百万円減少いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は471億3千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億9千9百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が17億7千4百万円、短期借入金が17億7千1百万円減少し、前受金が26億9千8百万円増加したことによるものであります。固定負債は187億3千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億3千7百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が1億8千6百万円、退職給付に係る負債が15億4千7百万円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は、658億6千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億3千7百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は132億3千万円となり、前連結会計年度末に比べ16億3百万円増加いたしました。これは主に退職給付に関する会計基準等の適用などにより利益剰余金が14億2百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は16.6%（前連結会計年度末は14.3%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、概ね計画通りに推移していることから、平成26年5月14日に公表しました予想数値から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が1,725百万円減少し、利益剰余金が1,663百万円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ27百万円増加しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,840	11,524
受取手形及び売掛金	21,146	16,568
商品及び製品	1,149	1,394
仕掛品	11,416	15,971
原材料及び貯蔵品	3,645	3,548
販売用不動産	208	208
繰延税金資産	828	844
その他	2,283	2,189
貸倒引当金	△847	△756
流動資産合計	52,671	51,493
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	35,903	35,919
減価償却累計額及び減損損失累計額	△29,044	△29,155
建物及び構築物(純額)	6,858	6,763
機械装置及び運搬具	43,518	42,967
減価償却累計額及び減損損失累計額	△41,307	△40,768
機械装置及び運搬具(純額)	2,210	2,199
土地	13,206	13,206
リース資産	915	1,039
減価償却累計額	△225	△268
リース資産(純額)	689	771
建設仮勘定	224	13
その他	12,153	12,178
減価償却累計額及び減損損失累計額	△11,753	△11,717
その他(純額)	399	461
有形固定資産合計	23,589	23,415
無形固定資産		
その他	145	127
無形固定資産合計	145	127
投資その他の資産		
投資有価証券	2,111	2,214
長期貸付金	33	32
繰延税金資産	494	458
その他	2,125	2,087
貸倒引当金	△738	△730
投資その他の資産合計	4,025	4,062
固定資産合計	27,760	27,605
資産合計	80,432	79,098

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,895	16,120
短期借入金	18,632	16,861
リース債務	155	181
未払法人税等	415	123
前受金	7,048	9,746
賞与引当金	—	331
工事損失引当金	97	109
資産除去債務	127	128
その他	4,062	3,529
流動負債合計	48,433	47,134
固定負債		
長期借入金	4,696	4,510
リース債務	576	638
繰延税金負債	52	79
再評価に係る繰延税金負債	447	447
資産除去債務	157	156
退職給付に係る負債	13,818	12,271
その他	622	629
固定負債合計	20,371	18,733
負債合計	68,805	65,868
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,709	1,709
資本剰余金	814	814
利益剰余金	9,008	10,411
自己株式	△8	△8
株主資本合計	11,523	12,926
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	301	369
土地再評価差額金	1,471	1,471
為替換算調整勘定	△345	△344
退職給付に係る調整累計額	△1,453	△1,325
その他の包括利益累計額合計	△26	169
少数株主持分	129	134
純資産合計	11,626	13,230
負債純資産合計	80,432	79,098

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	16,043	17,373
売上原価	13,775	14,709
売上総利益	2,268	2,663
販売費及び一般管理費	2,674	2,753
営業損失(△)	△406	△89
営業外収益		
受取利息	6	4
受取配当金	18	23
受取保険金	3	1
受取賃貸料	7	7
持分法による投資利益	—	1
その他	35	36
営業外収益合計	71	74
営業外費用		
支払利息	143	118
手形売却損	6	4
持分法による投資損失	5	—
その他	30	40
営業外費用合計	185	163
経常損失(△)	△520	△178
特別利益		
固定資産売却益	8	1
国庫補助金	568	138
その他	—	0
特別利益合計	577	139
特別損失		
固定資産除却損	20	0
固定資産圧縮損	568	138
その他	3	11
特別損失合計	592	150
税金等調整前四半期純損失(△)	△536	△190
法人税等	88	66
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△624	△256
少数株主利益	0	5
四半期純損失(△)	△625	△261



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△624	△256
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	96	67
為替換算調整勘定	27	1
退職給付に係る調整額	—	127
その他の包括利益合計	124	196
四半期包括利益	△500	△60
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△502	△65
少数株主に係る四半期包括利益	2	5

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	建材	形材外販	環境	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	9,991	5,108	623	15,723	320	16,043
セグメント間の内部売上高又は 振替高	72	1,982	—	2,054	655	2,710
計	10,063	7,090	623	17,777	976	18,754
セグメント利益又は損失(△)	△216	169	△12	△59	32	△27

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「不動産」、「運送」、「保管管理」、「LED商品」等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△59
「その他」の区分の利益	32
セグメント間取引消去	△4
全社費用(注)	△373
四半期連結損益計算書の営業損失 (△)	△406

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	建材	形材外販	環境	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	10,402	5,931	607	16,942	431	17,373
セグメント間の内部売上高又は振替高	79	1,860	—	1,939	630	2,570
計	10,482	7,792	607	18,881	1,061	19,943
セグメント利益又は損失(△)	16	195	△17	194	39	234

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「不動産」、「運送」、「保管管理」、「LED商品」等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	194
「その他」の区分の利益	39
セグメント間取引消去	30
全社費用(注)	△355
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△89

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。